



梅雨の季節となりました



大雨や土砂災害に備えてください

防災に関するおたずね／防災安全課 ☎21-6606 および各支所

市では避難等についての情報を防災行政無線、ケーブルテレビ、有線放送(情報いずも・ひらたCATV音声告知・大社ご縁ネット)、エフエムいずも、ホームページ、いずも防災メール、緊急速報メール(NTTドコモ、au、ソフトバンクモバイル)、広報車等でお知らせします。

なお、平成28年12月から「避難準備情報」等の名称が次のとおり変更になっています。

(変更前)

避難指示

避難勧告

避難準備情報



(変更後)

避難指示(緊急)

避難勧告

避難準備・高齢者等避難開始

避難について

「避難」とは、災害から命を守るための行動です。

次の行動が「避難」になります。

- ① 指定避難所への移動
- ② 自宅等から移動して身近でより安全な場所への移動
- ③ 自宅等の安全な場所(2階等)への退避→屋内安全確保



※災害の種類やお住まいの地形から、屋内の安全な場所へ移動することも「避難」の一つです。
※地区以外の指定避難所であっても、自宅等からより安全に避難できる指定避難所に避難しましょう。

防災ハザードマップ

災害に対する日頃の備えと、いざという時に役立てていただくため、市では防災ハザードマップを作成しています。

防災ハザードマップは、皆さんがお住まいの地域で、洪水によってどこがどの程度浸水するおそれがあるか、また、どこが土砂災害の発生するおそれがあるか、どこが津波によって浸水するおそれがあるかなどを示したものです。指定避難所情報も記載しています。

お近くのコミュニティセンターまたは市役所本庁・各支所で配布しています。(市ホームページからも取得可能)

詳しくは防災安全課(☎21-6606)までおたずねください。



自ら防災情報を入手しましょう

災害から身を守るためには、正確な防災情報を入手し、早めの行動を心がけることが大切です。

そのために必要となる防災情報の入手先は次のとおりです。



テレビ

- ・出雲ケーブルビジョン 11チャンネル
- ・ひらたCATV 11チャンネル

*市に気象警報・気象特別警報が発表されたときに気象情報や災情報を放送します。

ラジオ

- ・NHK第1放送(AM) 周波数 1296KHz
- ・山陰放送(AM) 周波数 1431KHz
- ・エフエム山陰(FM) 周波数 77.4MHz
- ・エフエムいずも(FM) 周波数 80.1MHz

*「エフエムいずも」は、災害時には市からの緊急情報を割り込み放送にて実施します。

インターネット

- ・しまね防災情報 <http://www.bousai-shimane.jp/>
- ・出雲市防災情報 <http://izumocity.bosai.info/pinpoint/index.html>
- ・ホームページ・フェイスブック

市ホームページ「災害・緊急情報」およびフェイスブック等で、災害時などに随時情報を発信します。

*注意報・警報・雨量・水位情報、アメダス、気象レーダー、台風情報、衛星画像、地震情報等や市からの防災情報が入手できます。

携帯電話メール

いずも防災メール↓登録方法↓

- ①空メールを送信してください。送信先アドレス:m-izumo@xpressmail.jp
- ②登録用メールが届きます。
- ③内容を確認のうえメール本文内の登録用URLを選択してください。QRコードから送信先アドレスを取得できます。
- ④登録画面で配信希望情報等を登録してください。



*注意報・警報、地震情報、水防情報、土砂災害情報などの防災情報が配信されます。

土砂災害から身を守るためには

～集中豪雨の危険が高まる6月は「土砂災害防止月間」です～

土砂災害が発生する前には、前兆現象が起こる場合があります。前兆現象に気付いたら早めに自主避難し、防災安全課(☎21-6606)、各支所または出雲県土整備事務所(☎30-5649)へ至急連絡してください。

がけ崩れ

雨で地中にしみ込んだ水分が土の抵抗を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象。

〈前兆〉

- がけからの水が濁る。
- がけに亀裂が生じる。
- 斜面から小石がバラバラ落ちてくる。



土石流

大雨の土砂などが、豪雨などによる大量の水と混じり合って、津波のように流れ出す現象。

〈前兆〉

- 山鳴りや立木の裂ける音や石のぶつかり合う音が聞こえる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



地すべり

粘土などの地中の滑りやすい層に地下水が入り込み、地面がズルズルと動き出す現象。

〈前兆〉

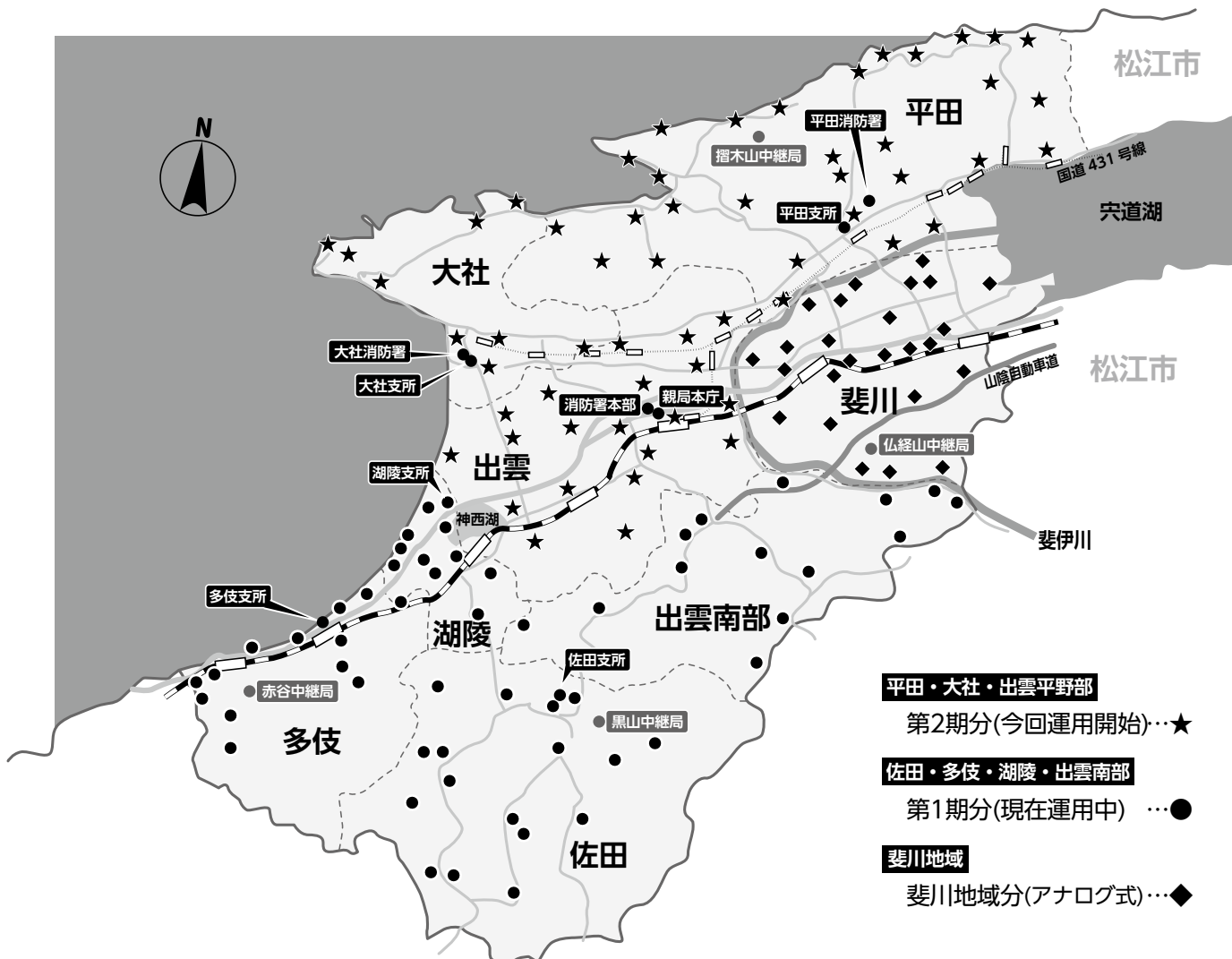
- 地面にひび割れができる。
- 湧き水や井戸水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。



デジタル式防災行政無線の運用が始まります

防災行政無線とは、市町村が整備する防災関係機関への連絡や、皆さんへ防災情報を伝達する無線通信システムのことです。

このシステムは現在、第1期として佐田・多伎・湖陵・出雲南部地域で運用を始めていますが、今回、第2期として、平田・大社・出雲平野部にエリアが拡大し、平成29年6月から運用を始めることになりました。



屋外に設置したサイレン・スピーカー(屋外拡声子局)で、気象警報による警報や避難広報、全国瞬時警報システムによる緊急的な防災広報を広域的に届けることができるようになります。

防災行政無線が聞こえないときはどうすれば？

- ・防災行政無線はサイレンや音声で情報を伝達するもので、気象条件によって音の到達距離が変わってきます。近年、ラジオ、テレビや携帯電話などの情報端末のデジタル化により災害情報の提供はリアルタイムに更新されています。また、避難情報については同時に広報巡回等で対象となる皆さんに周知することとしています。スピーカーからの音が聞こえにくい場合などがあれば、積極的に情報収集を頂きますようお願いいたします。

屋外拡声子局



高さ約15メートル

おたずね／防災安全課 ☎21-6606

斐伊川放水路放流時の周知方法

大雨で斐伊川が増水し、斐伊川本川の流量が毎秒400m³を超えると、斐伊川放水路への自然越流が始まります。その後、同じく毎秒500m³を超えると斐伊川放水路分流堰のゲートを倒す操作を行います。ゲート操作を行う場合は、次のように周知します。

ゲート操作 約1時間前

国土交通省出雲河川事務所から、県庁、市役所、出雲警察署、出雲消防署へ放流通知があります。

また、河川内に人がいないか警報車で下流の巡視を行います。

ゲート操作 約30分前

斐伊川放水路、神戸川沿いに29か所設置している放流警局で、河川内にいる人を対象に次の周知を行います。

- スピーカー・・・30秒鳴らす→6秒休止→15秒鳴らす
- 回転灯・・・周知開始から分流終了まで回転

※分流堰の操作で川の水かさが急激に増える恐れがあるため川には近づかないでください。

ゲート操作開始

また、出雲河川事務所のホームページでも周知を行います。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



放流警局(大津上来原町内)

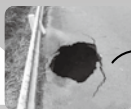
おたずね

国土交通省 出雲河川事務所
 ☎21-1850
 出雲市 建設企画課
 ☎21-6561

こんな時に
お知らせください!



落石



舗装の
陥没



護岸の
決壊

など、公共土木施設*の異常を見つけたとき
 ※(道路・河川・砂防・港湾などの施設)

簡単操作で送れます!



もしも

道や川の異常を発見したら「パトレポしまね」を使って、スマートフォンから写真や位置情報を送ってください。あなたからの情報が、公共土木施設の安全につながります!

1

落石を見つけた



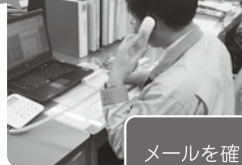
小さな石でも
送ってください!

パトレポしまね
で写真を送る



2

県土整備事務所等



メールを確認

3

職員が
現地確認



4

応急処置



道と川の相談ダイヤル

パトレポ しまね

スマートフォンアプリ

あなたのスマートフォンから
送られた写真が、公共土木施設の
安全につながります!



レポーター
登録はこちら
無料ダウンロード

<http://patorepo-shimane.org>



おたずね / 出雲県土整備事務所 ☎ 30-5789